

【テーマ2:「おきなわ教員研修高度化フォーラム」の構築と展開 —「教員研修の協働化」「教員研修の個別最適化」「教員研修の合理化」を図る—】

【団体名】琉球大学教育学部

※「教育学部」と称するが教育学研究科(教職大学院)と教職センターを含む。
 ※本事業において協働した機関: 沖縄県教育委員会(沖縄県教育庁)、沖縄県立総合教育センター、石垣市教育委員会/石垣市立教育研究所、大宜味村教育委員会、宜野湾市教育委員会/はごろも学習センター(教育研究所)、竹富町教育委員会、中城村教育委員会、那覇市教育委員会/那覇市立教育研究所、南部広域行政組合教育委員会/島尻教育研究所、宮古島市立教育委員会/宮古島市立教育研究所、八重山教育事務所、沖縄県教育庁教育事務所、市町村教育委員会/教育研究所、県内保・幼・こ・小・中・高校・特別支援学校 等

モデル開発概要

現場における課題

琉球大学教育学部は「アドバイザースタッフ派遣事業」と「県内7市町村教育委員会と連携協定事業」(加えて1村教育委員会と長い協働の経験がある)の二つの事業により、沖縄県における教員研修に対して一定の貢献を果たしてきたが、一方で、それらによって得られたはずの成果は、個別の地域・学校・教員と派遣された大学教員との間で共有されるにとどまり、県内全体を巻き込んだ持続的な協働関係を実現するに至っていない。

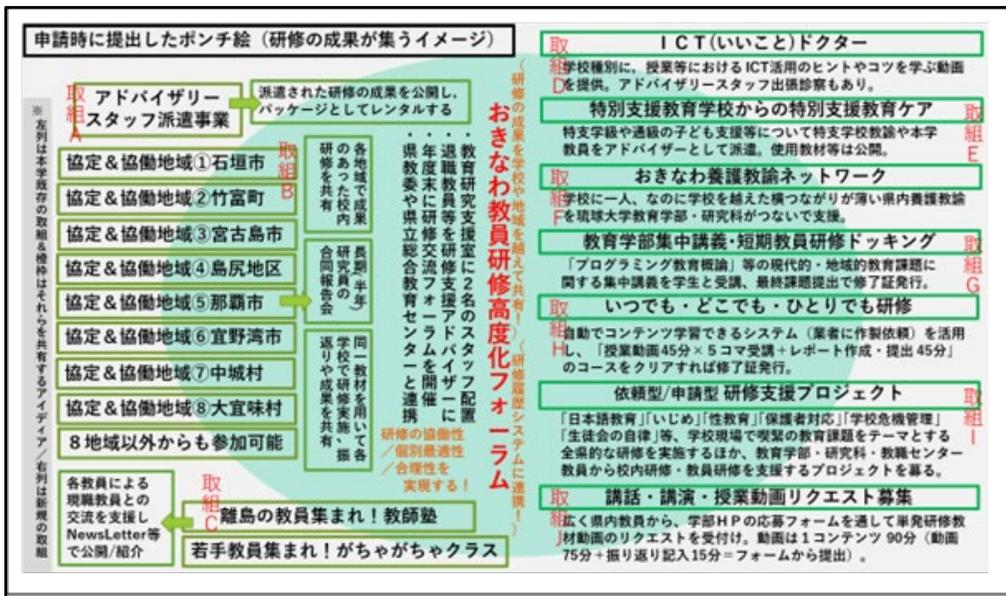
モデルの概要

本事業では、研修コンテンツ(リアルに教員が集う学びの場および研修動画)を提供・発信し、その研修成果を共有するリアルかつバーチャルな空間(広場)を構築する。

活用する技術・ツール等

- ・レーザー加工機
- ・天文学習アプリ「Mitaka」
- ・プログラミング教材「Scratch」「BBCmicro:bit」「SonyMESH」「ドリトル」
- ・3Dプリンタ
- ・3DCAD「Fusion360」
- ・系統解析ソフト

高度化に資する取組



注: このポンチ絵にあるように、当初は取組Aから取組Jまでの10の企画を構想していたが、このうち取組Hについては、基本的にかつての教員免許状更新講習の内容を動画に再現することを目論んでいたものの準備が整わず、実現させることができなかった。しかし、それ以外の9の取組は全て実施することができた。

モデルを活用する上でのポイントや期待される効果

モデルを活用する上でのポイント

本事業HPや研修動画システムから、教員個人や校内研修や教員有志の勉強会等のニーズに合う研修コンテンツ(講師や動画)の情報にアクセスする。

期待される効果

- ①各地域・各学校・各教員が実施する研修内容や成果を全県的に共有し、研修の協働性を高めることができる。
- ②大学が多彩な研修コンテンツを提供・公開・共有することで、県内各教員が個別最適な研修内容を選択・実施できるようになる。
- ③ネット上で受講→課題提出→修了証受理が可能なシステムを利用すれば、質を落とさずに合理的な教員研修ができる。